



2024測量の日特別企画 トータルステーションで距離計測に挑戦する来館者

CONTENTS

1. 尾崎国土交通大臣政務官 国土地理院を視察 2
2. 企画展「国土地理院の地図の変遷 ―地図から地理空間情報へ―」を開催 3
3. 「測量の日」関連行事を実施
 • 「2024測量の日特別企画 地図 × 触れる 測量 × 学ぶ」を開催 4
 • 「日本水準原点」等の一般公開 7
4. 生徒・学生も応募歓迎！皆様のG空間情報を活用した取組を表彰します！
 ～「Geoアクティビティコンテスト」作品募集中～ 8
5. 「自然災害伝承碑 」ウェブ地図「地理院地図」での公開数 9
6. 5月の報道発表・7月の主な行事予定 9

尾崎国土交通大臣政務官 国土地理院を視察

お ざき まさなお
尾崎 正直 国土交通大臣政務官が、令和 6 年 5 月 17 日に国土地理院を視察されました。構内にある電子基準点や測量用航空機「くにかぜ初号機」などの各施設をご覧いただきながら、当院の所掌業務や施策の説明を受けられました。



尾崎政務官（中央）と大木院長（左）

はじめに、電子基準点を視察いただき、絶え間なく我が国の位置を高精度に観測する施設であり、測量のほか様々な用途に利用されていることの説明を受けられました。

次に、測量用航空機「くにかぜ初号機」を視察いただきました。くにかぜの運用やその役割について説明を受けられ、機体の内部までご覧いただきました。



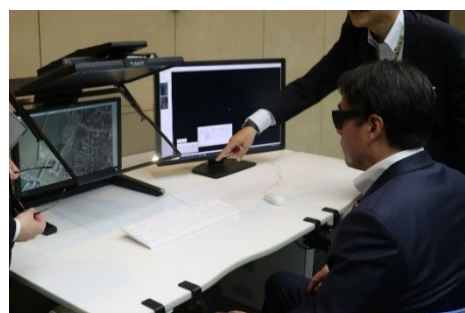
くにかぜ内部を視察される尾崎政務官

地球ひろばにある日本列島球体模型では、地球の丸さ、日本の領域の広さを体感いただき、併せて、我が国の領土の明示や保全のため、本土から遠く離れた離島においても、基準点の整備を行っていることについて説明を受けられました。



日本列島球体模型を体験される尾崎政務官

次に、場所を屋内に移し、地図の作成工程や、他機関とも連携しつつこれから取り組んでいく地図の 3 次元化などについて説明を受けられました。また、空中写真を立体的に見ながら地図を描画（図化）する作業において、実際に使用する機器を体験いただきました。



特殊なメガネで空中写真の立体視を体験される尾崎政務官

最後に、自然災害伝承碑などの防災地理情報や、能登半島地震に伴う災害現況図などをご覧いただきました。ご自身の災害対応に係る活動を振り返られながら、災害の様子が一目でよく分かる地図は災害対策にとっても重要であり、意義のあるものであると感銘を受けておられました。



被災状況を記した能登半島の立体模型に触れ地形を確認される尾崎政務官

視察全般を通じて、尾崎政務官は国土地理院の業務や施策に大きな関心を示され、多くの質問や意見を交えながら、視察を終えられました。

（総務部・企画部）

企画展「国土地理院の地図の変遷 —地図から地理空間情報へ—」を開催

国土地理院「地図と測量の科学館」（茨城県つくば市）では、特別展示室において7月17日（水）から9月23日（月）まで、企画展「国土地理院の地図の変遷 —地図から地理空間情報へ—」を開催します。

国土地理院の使命。それは、正確な位置と新鮮な地図を国民に届けることです。

国土地理院では、地図や測量により、我が国の領土を明示し、領土についての正確な理解が国内外に広がるよう、国土全域の地図を整備しています。

明治以来 150 年以上にわたり、国土を測り、その姿を地図に表現し、平成 26 年には電子地形図 25000 及び 2 万 5 千分 1 地形図で北方四島を含む日本の領土全域の地図整備を完了しました。このほか、歴史的な地図をはじめ、5 万分 1 地形図、20 万分 1 地勢図、100 万分 1 日本、500 万分 1 日本とその周辺、湖沼図、火山土地条件図、活断層図等、様々な縮尺の地図及び主題図を紙媒体で整備してきました。現在では、これらの地図がデジタル化され、3D 地図など新たなコンテンツとともにパソコンやスマートフォンで簡単に確認できるようになっています。

また、主題図のデータ、様々な台帳データ、統計データ（人口、気象、災害、経済等）を位置情報により紐付け、GIS（地理情報システム）での解析に必要な情報として活用したり、新たな地理空間情報を作成するために、国土地理院の地図情報及び国家座標が広く利用されているところです。

今回の企画展では、最新技術を用いた地図の更新や、地形図の作成工程、国土地理院が刊行している様々な地図などを紹介しています。小中学生や高校生、大学生の皆様にも夏休み中に足を運んでいただき、自由研究などの手がかりとしてご活用いただければと思います。

この機会に地図の意義と重要性について理解を深めていただけると幸いです。

【主な展示内容】

- 最新技術による地図の更新
- 地形図の作成工程
- 国土地理院が刊行している地図
- 地理院地図の紹介
- 地図作成の変遷
- 迅速測図原図と先人が作成した地図 など



併せて「地図と測量の科学館」ホームページもご覧ください。

<https://www.gsi.go.jp/MUSEUM/>



（総務部）

「測量の日」関連行事を実施 ●「2024測量の日特別企画

地図 × 触れる
測量 × 学ぶ」を開催

6月2日、国土地理院「地図と測量の科学館」（茨城県つくば市）において「2024 測量の日特別企画
地図 × 触れる
測量 × 学ぶ」を開催し、多くの皆様にご来場いただきました。

「測量の日」特別企画は、6月3日の「測量の日」にあわせて毎年6月の第1日曜日に開催しています。

今回は、「地図と測量の科学館」の通常開館に加えて、国土地理院の防災減災に関する取組や災害発生時の役割を紹介する展示を行うとともに、測量体験イベントや国土地理院本館等の関連施設の公開等を実施しました。

当日はあいにくの空模様となりましたが、1,390名の皆様にご来場をいただきました。

イベントの一つ、測量用航空機「くにかぜ」機内公開は子ども達からの人気が高く、天候悪化のため一時的に公開を中止したときには、泣き出してしまうお子さんもいました。（天候回復時に再開したときには、笑顔で参加してくれました。）

機内に搭乗した子ども達がコックピットに座ったり、機内の機械を興味津々に眺めたりする姿が見られました。

機内見学の順番待ちの間、職員から「くにかぜ」の説明を受けた参加者からは「とても分かりやすい説明でよかった」と好評でした。



「くにかぜ」機内公開の行列

体験イベント「地理院地図に触れてみよう」は、参加者がタブレット端末を使い、地理院地図の機能に触れてもらうイベントです。

家族連れの参加者が多く、自宅周辺の土地の成り立ちや公共物の確認、「重ねるハザードマップ」サイトを利用して浸水想定区域を確認してみるなど、

真剣にタブレットを操作している姿が印象的でした。



「地理院地図に触れてみよう」で説明を受ける参加者

体験イベント「日本列島一筆描き」は、手描きの日本地図をコンピュータが採点するもので、毎年多くの方に参加いただく人気のイベントです。

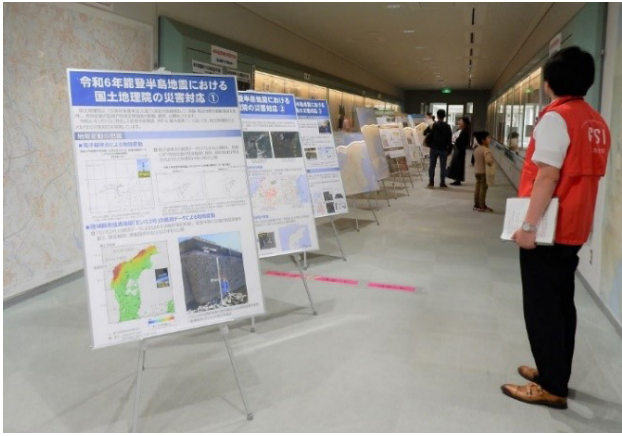
子ども達が真剣な表情で描いている姿を数多く目にしました。採点后、高得点（87点以上）となった多くの優秀作品がパネルに掲示され、来場者の目にとまっていました。



多くの参加者で賑わう「日本列島一筆描き」

「防災減災に関する展示」では、「令和6年能登半島地震」など、国土地理院がこれまでに対応した災害のうち主なものを13枚のパネルにまとめて展示しました。

来場者の中には能登半島から足を運ばれた方もいらっしゃるなど、展示会場では熱心にパネルを見入る姿や質問が寄せられ、関心の高さが見受けられました。



「防災減災に関する展示」風景

今回の特別企画の目玉となる「施設の公開ツアー」は、特別に国土地理院の仕事を公開するものです。職員が業務に励んでいる場所で仕事内容の説明を受けたり、器械に触れたり、普段できない体験をしてもらいました。

参加者からは、「面白かった」「大変勉強になった」という声が多く聞こえました。



施設公開で空中写真の実体視に挑戦する参加者



施設公開で「防災監視室」を体感する参加者



施設公開でステレオ図化機を体験する参加者



施設公開で測量器械を体験する参加者



施設公開で旧版地図を見入る参加者

そのほか、トータルステーションを使った「距離を測ってみよう」や「地図記号クイズラリー（測量の日バージョン）」なども大変人気があり、参加者からのアンケートでも、好評の声をたくさんいただきました。

多くの方に、「地図と測量」に楽しく触れて・学んでいただけた一日でした。

国土地理院では、皆さんに楽しんでもいただけるイベントを今後も企画していきます。みなさまのご参加をお待ちしています。



地図と測量の科学館のＨＰ

<https://www.gsi.go.jp/MUSEUM/>

(総務部)

「日本水準原点」等の一般公開

関東地方測量部では5月22日、測量の日関連行事の一つとして、国会前庭北地区にある「日本水準原点」と「電子基準点（東京千代田）」を一般に公開しました。

「日本水準原点」等の一般公開は、毎年測量の日を目前に控えた5月下旬に行っています。今年も天候に恵まれて、約500人の見学者があり、多くの方に「日本水準原点」と「電子基準点」に関心を持っていただけました。



標庫の蓋を開け水晶目盛板を公開する様子

当日は、測量・地図愛好家のほか、地理学専攻の大学生、修学旅行中の高校生、社会科見学中の小学生、測量・土木・建築関係の方など幅広い層の皆様にご来場いただきました。

本公開では、普段見ることができない「日本水準原点」を収容する建物（水準原点標庫）の内部を開放し、二つの台石とそれらを支える基礎柱、標高の基準となる目盛りが刻まれた水晶板を直接見学していただくとともに、「日本水準原点」設置当時の標庫周辺の写真、位置図、構造図、水準測量などのパネルも展示しました。公開時間前から見学者が集まり、準備中のパネルや標庫の中を覗き込む人や「日本水準原点」をはじめとした測量技術の歴史について質問を重ねる方など熱心な見学者もおおいになりました。また、「日本水準原点」の水晶目盛板を近くで写真に収めたい方や

標庫内をじっくり見学したい方が多く順番待ちの行列ができるなど、「日本水準原点」への関心の高さがうかがえました。見学者からは、「今日だけ標庫の中に入れることに感動しました」「水準原点の古い書体文字には歴史を感じました」などの声が寄せられました。



電子基準点（東京千代田）の内部公開の様子

また、「日本水準原点」の近傍に設置している「電子基準点（東京千代田）」の内部構造を公開し、役割や重要性、「日本水準原点」との関係を説明し、見学者からは「電子基準点の大切さが分かりました」などの声がありました。

たくさんの方のご来場に感謝申し上げますとともに、今後も引き続き測量・地図について理解を広める取組を進めてまいります。

（関東地方測量部）

生徒・学生も応募歓迎！ 皆様のG空間情報を活用した取組を表彰します！
～「Geo アクティビティコンテスト」作品募集中～

今年度もG空間情報を活用した優秀な取組を表彰する「Geo アクティビティコンテスト」を開催します。独創的なアイデア、新たなサービス等を8月2日（金）まで募集します。

「Geo アクティビティコンテスト」は、G空間情報（地理空間情報）を活用した独創的なアイデア、新たなサービス等について、展示・発表等を行う国土地理院主催のイベントです。2012年度に初めて開催し、今回で13回目の開催となります。来場者や参加者との交流を通じて、次世代のG空間社会（※）を担う人材の育成、優良事例の普及、新しいサービスの創出などG空間情報の活用促進を目的としています。

G空間情報を活用した取組を行っている方であれば、団体、個人を問わず、生徒・学生、教育関係者、NPO 法人、地域サークル、その他企業・団体などでもご応募可能ですので、多くのご応募をお待ちしております。

応募作品の中から事前審査において選ばれた作品について、G空間 EXPO2025 会場で展示や発表をしていただきます。また、オンラインではポスター及びプレゼン動画が掲載されます。優れた作品については、会場で表彰する予定です。

皆様の作品を多くの方に見ていただき、他の参加者・来場者と交流する絶好の機会です。奮ってご応募ください。

（※）G空間情報（地理空間情報）が高度に活用され、自然災害や環境問題への対応、産業・経済の活性化、豊かな暮らしの実現といった様々な社会課題の解決に貢献する社会。

応募方法

web サイト (<https://www.gsi.go.jp/chirikukan/chirikukan41043.html>) にある募集要項をご確認のうえ、応募用紙に必要事項をご記入いただき、電子メール又は郵送でご応募ください。

応募〆切

令和6年8月2日（金）17時【必着】

お問い合わせ

Geo アクティビティコンテスト事務局

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-2

国土地理院 防災・地理空間情報企画センター
地理空間情報企画課（東京オフィス）

Tel : 03-3508-4614

E-Mail : gsi-g-kukan8=gxb.mlit.go.jp (= を @ に変えてください)



Web サイト

【開催決定】 G空間 EXPO2025

令和7年1月29日（水）～1月31日（金）

東京ビッグサイト

※オンライン開催

令和7年1月22日（水）～2月7日（金）

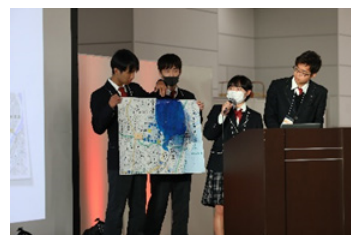
主催：G空間 EXPO 運営協議会

Geo アクティビティコンテスト事務局では、今年も X (旧 Twitter) を活用し情報発信をしていきます。
ぜひフォローをお願いします。

 @geo_contest



昨年の展示



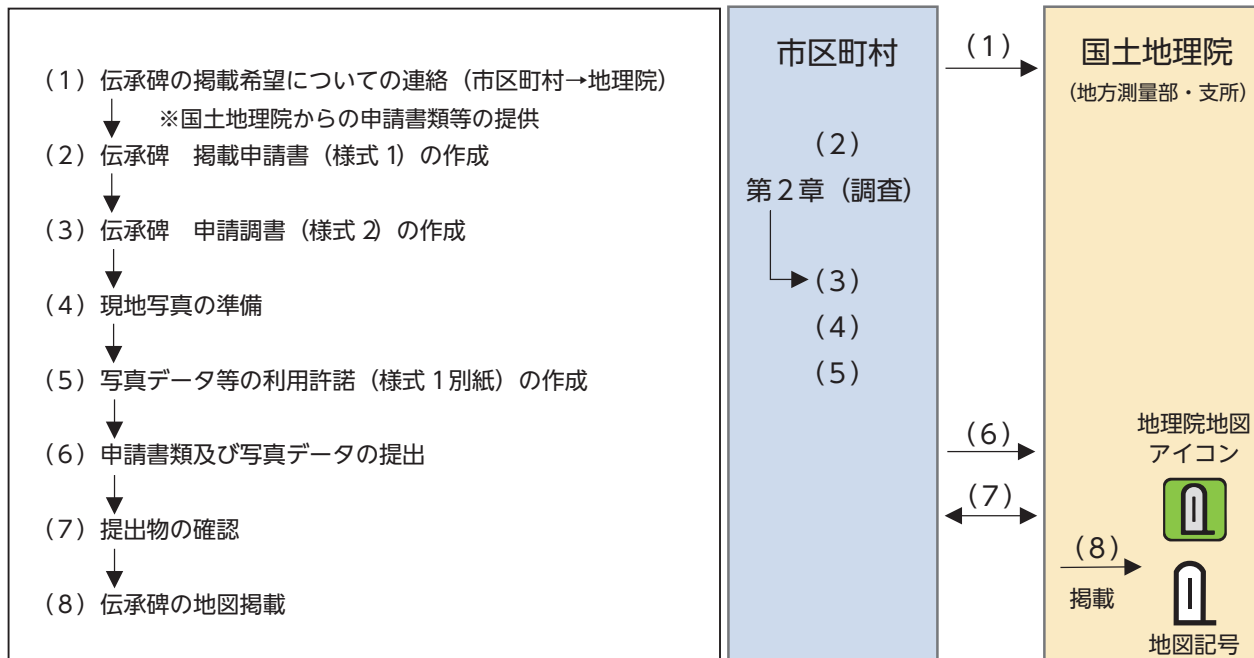
昨年の発表

（防災・地理空間情報企画センター）

47	都道府県	620	市区町村	2137	基
----	------	-----	------	------	---

詳細については、自然災害伝承碑のページ (<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi>) をご覧ください。
【市区町村の担当者の皆様へ】 自然災害伝承碑に関する当院への情報提供にご協力をお願いいたします。

自然災害伝承碑の申請の流れ



様式や手続きの詳細は「自然災害伝承碑に係る調査業務 実施の手引き 第6版 (令和6年3月)」
https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_info.html をご覧ください。

5 月の報道発表

10 日	令和 6 年 4 月の地殻変動	測地観測センター 地理地殻活動研究センター
15 日	「測量の日」記念フェア 2024 を開催 ～6 月 3 日は「測量の日」～	近畿地方測量部

報道の内容は、国土地理院ホームページ> 2024年 報道発表資料一覧
<https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/press-2024.html> をご覧ください。

7 月の主な行事予定

7/17～9/23	地図と測量の科学館 企画展「国土地理院の地図の変遷 —地図から地理空間情報へ—」
-----------	--

国土地理院広報は、
 国土地理院ホームページ> 広報誌 > 国土地理院広報
<https://www.gsi.go.jp/WNEW/koohou/> に掲載しています。

発行 国土交通省国土地理院
 Geospatial Information Authority of Japan

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番
 TEL 029-864-6255
 FAX 029-864-6441

連絡先：総務部広報広聴室
 国土地理院ホームページ
<https://www.gsi.go.jp/>